

2024年11月14日

株式会社 電通グループ

代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博  
(東証プライム市場 証券コード: 4324)

## 2024年度第3四半期連結決算(IFRS)に関するお知らせ

—売上総利益は6.5%増、成長への回帰に向け進捗—

株式会社電通グループ(本社:東京都港区、代表執行役 社長 グローバルCEO:五十嵐 博、資本金:746億981万円)は、本日開催の取締役会において、2024年度第3四半期累計期間(2024年1月1日~9月30日)の連結決算を承認しました。

詳細は下記資料をご覧ください。

2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

URL: <https://www.group.dentsu.com/jp/ir/data/pdf/tanshin2024Q3.pdf>

2024年度 第3四半期 投資家・アナリスト向け決算説明会プレゼンテーション

URL: <https://www.group.dentsu.com/jp/ir/data/pdf/2024Q3EAPRE.pdf>

第3四半期累計の補足説明:

- 売上総利益

売上総利益は、連結のオーガニック成長率が、CXM(顧客体験マネジメント)領域の事業の回復の遅れにより、マイナス1.1%となりましたが、プラスの為替影響やM&Aによる増加により、前年同期比6.5%増の8,660億円となり、第3四半期累計として上場来最高となりました。地域別では、日本とEMEAがプラスのオーガニック成長となり、日本の売上総利益は第3四半期累計として上場来最高となりました。米州とAPACのオーガニック成長率はマイナスですが、米州については四半期ごとに改善しています。

- 営業利益

営業利益は、内部投資の推進に伴う費用の増加等により調整後営業利益が前年同期比1.0%減となったことに加え、主に7月に当社グループのロシア事業の持分譲渡完了に伴う関連費用を計上したことにより、同40.2%減、194億円減の289億円となりました。

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、主に営業利益が前年同期比で減益となったことより、前年同期比93.1%減、204億円減の15億円となりました。

## 2024 年度通期連結業績予想の修正：

当四半期において、主に、米州、EMEA、APAC における CXM 領域の事業が 8 月時点の想定を下回ったこと、また、第 4 四半期において全体的に見通しを慎重に見直したことにより、通期の目標として、オーガニック成長率「約 1%」（期初発表）から「約 0%」へ、オペレーティング・マージン「約 15%」（期初発表）から「約 14%」へ、基本的 1 株当たり調整後当期利益を「381 円」（期初発表）から「350 円」へ修正します。また、事業上の利益指標である調整後営業利益の予想修正に伴い、営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益の業績予想についても修正をします。なお、一株当たり年間配当予想については、変更ありません。

詳細については、同日公開のニュースリリース「2024 年度通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上

### 【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、沢田、杉浦

Email : [group-cc@dentsu-group.com](mailto:group-cc@dentsu-group.com)